

# 自由民主党

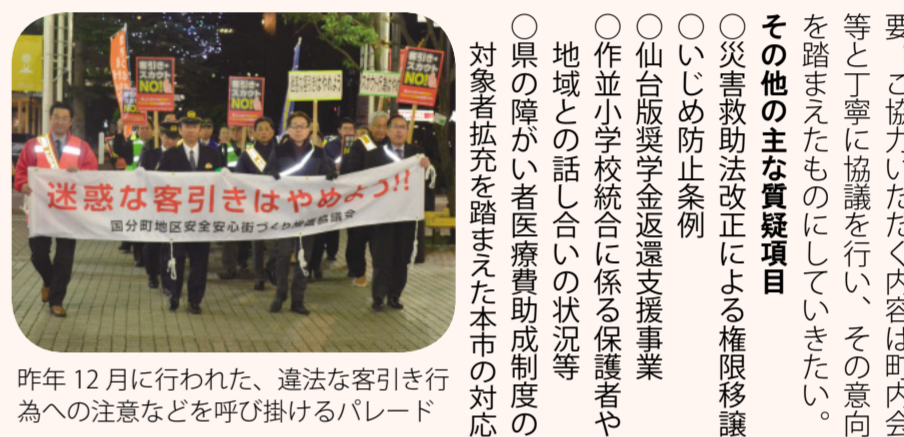
やしろ 美香 議員

**問** 市立学校へのエアコン設置は、設置箇所が多数に上り、平成31年夏までの完了に向け、現実なスケジュール管理が必要。工事期間が限られ、平日に教室内でのごみも発生し得る。早期整備に向けた今後の進め方、見直しを伺う。

**答** 設置工事については、複数の学校をグループ化する等の工夫により、早急かつ効率的な発注を行う。また、学校とも十分協議し、教育活動への影響を最小限に抑え、安全にも配慮しながら工事の円滑に進むよう検討する。

**問** 条例の実効性を確保するためには、本市が十分な体制を整備し、責任を持ってパトロールや取り締まりを行うことが必要。今後の体制整備や禁止区域内の町内会等との協力の在り方、警察との連携について伺う。

**答** 警察官OBの採用を県警と協議しており、立ち入り調査の積極的な実施等、県警と連携を密にしながら取り締まりを行っていく。また、禁止区域内の町内会等と連携した継続的な啓発活動は大変重要。ご協力いただく内容は町内会等と丁寧な協議を行い、その意向を踏まえたものにしていきたい。その他の主な質疑項目



昨年12月に行われた、違法な客引き行為への注意などを呼び掛けるパレード

# 日本共産党

庄司 あかり 議員

**問** 奨学金返還支援事業は、認定を受けた中小企業に就職した若者に対し、入社後3年間、奨学金返還を支援するものだが、中小企業が認定を受けるには、当該事業の基金に支援額の半額を寄付する必要がある。寄付の要件を無くし、より多くの若者や中小企業が活用できる制度にすべきと考えるが、いかがか。

**答** 中小企業の経営者からは、本制度創設に賛同する意見が多く、寄付も負担できる内容と聞いている。なるべく多くの中小企業に参画していただき、その上で制度の利用状況を見ていきたい。

**問** 熱沢地区のコミュニティバス「のりあい・つばめ」は、2019年には2回目の試験運行に進む。本格運行への補助制度を早く示すべき

**答** 2回の試験運行の結果を検証し、他都市の事例なども参考としながら、実証運行前までに、本格運行に向けたプロセスや補助内容を検討していく。



1回目の試験運行を目標達成で終えた「のりあい・つばめ」

# 公明党

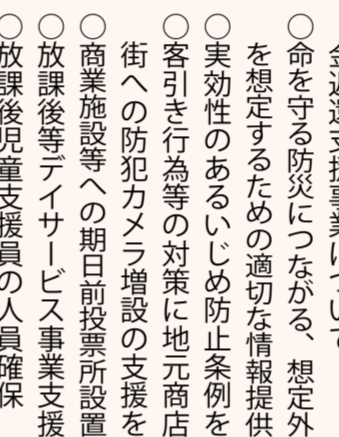
小田島 久美子 議員

**問** 保護者等が子どもの発達の特性への理解を深め、他の保護者とともに心を砕き、常に相談し合える「交流の場」の確保が必要と考えるが所見を伺う。また、発達の特性に対する社会の理解の水準を高める施策について伺う。

**答** 保護者が子どもへの行動や特性を理解し肯定的な視点で接する

**問** エアコン設置は、県内の他自治体と同時に発注が行われる。設備業者が不足する事態への対応と地元企業が受注できる発注方式を考える必要があるが所見を伺う。

**答** 市内の設備業者の団体等と意見交換を行いながら準備作業を進めている。できるだけ早期に設置できるよう効率性を考えつつ、地元企業が受注できるように発注を行うなど工夫していきたい。



早急なエアコン設置を(写真はガス式エアコンの室外機)

# 社民党

相沢 和紀 議員

**問** エアコン設置には多額の整備費を要する。既存の暖房設備に代えての活用と、基本料金を含めた運転費用等の削減を求める。

**答** 既存の暖房機器は使用しない方向で検討を進める。また、運転費用の削減も大きな課題であるため、適切な温度管理の徹底や使用方法の工夫など、さまざまな方

**問** 全国的にバス運転手の確保が困難となっている。市民の足が確保できない状況にならないよう、バス運転業務を委託している事業者も含め、職員確保にどのように対応していくのか伺う。

**答** これまでも採用方法に工夫を凝らしてきた。委託事業者も職員の定着や確保に力を入れている。今後も身近な交通手段としての役割を安定的に担えるよう取り組む

**問** 東部ほ場整備事業が完了すると市街地の農業用水路はその機能を失う。当該水路を雨水対策



バス運転手の確保が課題のバス事業(写真は仙台駅前バスプール)

# 代表質疑

## アムニティ台

沼沢 しんや 議員

**問** 仙台版奨学金返還支援事業の事業期間は、3年間の政策的効果の検証だけでなく、事業の将来的な可能性も考慮して検討すべき。

**答** 現下の地域経済においては、地元中小企業の人材確保と若者の地元定着が喫緊の課題であることから、まずは3年間注力すべきと考えた。この事業期間中に、企業

**問** 当局の不登校対策への真摯な取り組みは認識しているが、不登校の児童生徒は増え続けている。不登校は要因が多岐にわたり簡単に解決する問題ではない。施策の検証等さらに議論を深めるため、不登校対策検討委員会を来年度以降も継続し、対策に取り組むべき。

**答** 不登校対策の現状や課題を踏まえた不登校対策検討委員会の提言や、これまでの議論を施策に反映できるよう検討を進める。施策等の検証を行う必要から、委員会を継続する方向で考えている。

**問** 当局的な不登校対策への真摯な取り組みは認識しているが、不登校の児童生徒は増え続けている。不登校は要因が多岐にわたり簡単に解決する問題ではない。施策の検証等さらに議論を深めるため、不登校対策検討委員会を来年度以降も継続し、対策に取り組むべき。



主権者教育の推進を(若者と議員との交流会「Voters Cafe」の様子)

## 市民ファースト台

安孫子 雅浩 議員

**問** 新たな総合計画の計画期間には、外国人との共生等、多様な価値観や考えを受け入れる社会づくりが始まると考える。これらが本市の活力となるダイバーシティ仙台の構築について、所見を伺う。

**答** 本市の活力の維持向上のためには、多様性を認め合い、互いの価値観を尊重し、市民一人一人が活躍できる地域社会の実現が重要。新たな総合計画の議論も踏まえながら、増加傾向にある外国人や、地域の方々が安心して生活できる環境づくりに努めていく。

**問** いじめ防止に努める一方で、将来の健全で自立した市民を育て「仙台自分づくり教育」を進め、挑戦意欲や自己肯定感の低下、コミュニケーション能力の不足を補う「たくましく生きる力育成プログラム」の取り組みにさらに力を入れるべき。

**答** 昨年度に引き続き、自己肯定感を高める授業プラン等の実践に取り組んでいる。今後想定される変化の激しい社会の中で、児童生徒がしっかりと自立し、たくましく生き抜くために必要な能力を育むため、プログラムの充実・深化を図ってきたい。

**問** 高齢者の生涯現役を支える長期的視点に立ったプランづくり。○小中学校等へのエアコン設置工事における課題



設立25年を迎えるベガルタ仙台(©VEGALTA SENDAI)

## 常任委員会 審議の概要

平成30年12月19日開催

委員会に付託された議案等の番号を各常任委員会名の隣に記載しています。また、各議案等名は4面の会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

「○」は付託議案に対する質疑項目「」はその他の報告事項等

### 総務財政委員会

(第117・120・122・124・133号、第1・2号議題)

付託された6議案のうち、第120号議案は賛成多数で、その他5議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。付託された2件の請願は、起立採決の結果、不採択とすべきものと決定しました。

### 市民教育委員会

(第117・119・126号)

付託された3議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○客引き行為等の禁止に関する条例における客待ち行為の定義、県の条例や風俗営業法との整合性

### 健康福祉委員会

(第118・127・128・132・134号)

付託された4議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

### 経済環境委員会

(第125号)

付託された第125号議案は、全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○旧西田中工場の概要と建物解体スケジュール

### 都市整備建設委員会

(第118・127・128・132・134号)

付託された5議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

## 用語解説

本文中に紫文字で表記した用語を解説しています。

●コンセッション方式 (注1) (2面6段)

●クローズド (注2) (3面3段)

●ダイバーシティ (注3) (3面4段)

「X・TECH」と表記され、既存の産業分野に最先端の情報通信技術を導入し、革新的な技術やサービスを生み出す考え方のこと。

「多様性」を意味し、国籍、性別、年齢、障害の有無、性的指向などにこだわらず多様な人材を生かし、最大限の能力を發揮させようという考え方のこと。

●RPA (注4) (4面1段)

●SBLL (注7) (4面4段)

●フレイル(注6) (4面3段)

別、年齢、障害の有無、性的指向などにこだわらず多様な人材を生かし、最大限の能力を發揮させようという考え方のこと。

元業者に配慮し分離分割発注に○教職員を増やし多忙化の解消を○心身障害者医療費助成を現物給付にすべき

○学都仙台フリーバスの利用実績に応じた運賃分を市が負担し、バス事業の資金不足比率を改善せよ

○県の水道事業へのコンセッション方式導入に反対せよ

○幼保無償化で給食費が実費払いになるのは問題。国に声を上げよ。

に継続して活用するよう求める。

**答** 市街地の農業用水路は、従来より雨水排水の機能も有している。適切な活用が図られるよう、雨水排水路として移管することについて調整していく。

**問** その他の主な質疑項目

○客引き行為等の禁止に関する条例に実効性を持たせる具体策

○かさ上げ道路工事の契約変更

○小中学校等へのエアコン設置工事における課題

○市民の命に直結する水道事業に対する行政の責務

○ベガルタ仙台は経営の自立を

○仙台自分づくり教育を進め、挑戦意欲や自己肯定感の低下、コミュニケーション能力の不足を補う「たくましく生きる力育成プログラム」の取り組みにさらに力を入れるべき。

○高齢者の生涯現役を支える長期的視点に立ったプランづくり

○小中学校等へのエアコン設置工事における課題

○市民の命に直結する水道事業に対する行政の責務

○ベガルタ仙台は経営の自立を

○仙台自分づくり教育を進め、挑戦意欲や自己肯定感の低下、コミュニケーション能力の不足を補う「たくましく生きる力育成プログラム」の取り組みにさらに力を入れるべき。

○高齢者の生涯現役を支える長期的視点に立ったプランづくり

○小中学校等へのエアコン設置工事における課題

○市民の命に直結する水道事業に対する行政の責務

○ベガルタ仙台は経営の自立を

○仙台自分づくり教育を進め、挑戦意欲や自己肯定感の低下、コミュニケーション能力の不足を補う「たくましく生きる力育成プログラム」の取り組みにさらに力を入れるべき。

○高齢者の生涯現役を支える長期的視点に立ったプランづくり

○小中学校等へのエアコン設置工事における課題

○市民の命に直結する水道事業に対する行政の責務

○ベガルタ仙台は経営の自立を

○仙台自分づくり教育を進め、挑戦意欲や自己肯定感の低下、コミュニケーション能力の不足を補う「たくましく生きる力育成プログラム」の取り組みにさらに力を入れるべき。

○高齢者の生涯現役を支える長期的視点に立ったプランづくり

○小中学校等へのエアコン設置工事における課題

○市民の命に直結する水道事業に対する行政の責務

○ベガルタ仙台は経営の自立を

○仙台自分づくり教育を進め、挑戦意欲や自己肯定感の低下、コミュニケーション能力の不足を補う「たくましく生きる力育成プログラム」の取り組みにさらに力を入れるべき。

○高齢者の生涯現役を支える長期的視点に立ったプランづくり

○小中学校等へのエアコン設置工事における課題

○市民の命に直結する水道事業に対する行政の責務

○ベガルタ仙台は経営の自立を

○仙台自分づくり教育を進め、挑戦意欲や自己肯定感の低下、コミュニケーション能力の不足を補う「たくましく生きる力育成プログラム」の取り組みにさらに力を入れるべき。

○高齢者の生涯現役を支える長期的視点に立ったプランづくり

○小中学校等へのエアコン設置工事における課題

○市民の命に直結する水道事業に対する行政の責務

○ベガルタ仙台は経営の自立を

○仙台自分づくり教育を進め、挑戦意欲や自己肯定感の低下、コミュニケーション能力の不足を補う「たくましく生きる力育成プログラム」の取り組みにさらに力を入れるべき。